Aladdin

取扱説明書

石油ファンヒーター

型式 AKF-P327N／AKF-PL427N

〔強制通気形開放式石油ストーブ〕

このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございました。ご使用の前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、ご家族全員で安全に正しくお使いください。お読みになった後大切に保管し、必要なときにお役立てください。

裏面保証書の「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

危険

KEROSENE ONLY

ガソリン使用禁止
使用燃料:灯油

もくじ

正しく使って上手に節約

（安全のため必ずお守りください）

特に注意していただきたいこと

お使いになる人や他の人への危害・物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	⚠警告	⚠注意
この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

この絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

⚠危険（DANGER）

■ガソリン使用禁止

●ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。

⚠警告（WARNING）

■換気必要

●換気せずに使用しつづけないでください。酸素が不足すると、不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。また、乳幼児や呼吸器疾患などのかたは、体調不良になるおそれがあります。使用中は必ず1時間に1～2回換気して、新鮮な空気を補給してください。換気する時は、換気扇を使用したり、2ケ所以上の開口部を設けると効率よく換気ができます。

●窓の凍結や地下室など換気が十分に行えない場所では、使用しないでください。

■デジタル表示部に「H83」と表示したら、使用しない

●異常燃焼し、火災の原因になります。

●販売店へご連絡ください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

●たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■カーテン、寝具など可燃物近接厳禁

● カーテンや衣類、ふとんや毛布など燃えやすいもののそばで使用しないでください。火災の原因になります。タイマー予約するときも可燃物がそばにないか確認してください。

● 可燃物との離隔距離は、3ページを参照してください。

■温風吹出口をふさがない

●衣類、紙などで温風吹出口や前面ガード、空気取入口をふさがないでください。衣類、紙などでふさぐと、異常燃焼や火災の原因になります。

■衣類の乾燥厳禁

●衣類などの乾燥には使用しないでください。衣類が落下して火がつき、火災の原因になります。

■寝るとき消火

●寝るときや外出するときは、必ず消火してください。予想しない事故が発生するおそれがあります。

■可燃性ガス使用厳禁

●ファンヒーターを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの（ベンジン、シンナー）や、スプレーを使用しないでください。火災や故障の原因になります。

■ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

●感電の原因になります。

ぬれ手禁止

■スプレー缶厳禁

●スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを温風のあたるところに放置しないでください。熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。

⚠注意（CAUTION）

■ 給油時消火

●給油は必ず消火してから行ってください。火災のおそれがあります。

■ 居室内給油禁止・給油時火気禁止

●給油は必ず居室外の火の気のないところで行ってください。火災のおそれがあります。

⚠注意（CAUTION）

■次の場所では使わない

● 水平でない場所、不安定な場所
● 不安定な物を乗せた棚などの下
● 風の当たる場所や部屋の出入口
● 可燃性ガスの発生する場所・たまる場所
● 人のいない場所（温室、飼育室など）
● 高地（標高1500m以上）
● 暖炉や押し入れなど、ファンヒーターが囲われる場所
● マントルピースなどストーブが囲われる場所
● ほこり、湿気、金属粉の多い場所
● 超音波加湿機を使用している部屋
● 直射日光があたる場所や高温になる場所（例：熱のこもる場所、他の熱源の影響を受ける場所）
● 理・美容院、クリーニング店、メッキ、塗装、脱脂、洗浄工場などスプレーや化学薬品を使用する場所

火災や予想しない事故の原因になります。

■ ファンヒーターを使用している部屋ではシリコーン配合製品を使用しない

●本体近くでシリコーン配合の枝毛用コート液・化粧品・つや出し剤などは使用しないでください。燃焼部にシリコーン酸化物が付着し、異常燃焼や点火ミス途中消火の原因になることがあります。

（シリコーン配合の商品には下記のようなものがあります。ヘアケア商品（ヘアートリートメント、ムース、枝毛用コート液）、ガラスクリーナー、制汗剤、化学ぞうきんなど）

■ 異常・故障時使用禁止

●油漏れやにおい、すすの発生、炎の色など異常や故障と思われるときは使用しないでください。事故の原因になります。運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

■ 電源プラグは確実に差し込む

●電源プラグはコンセントに根元まで差し込んでください。また傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

●差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

■ 油漏れ確認

●口金は確実にしめてください。口金を下にして油漏れがないことを確かめてください。口金を斜めにしめたりすると簡単に口金が外れて、火災のおそれがあります。

■ 温風に直接長時間あたらない

●低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。

「低温やけど」について

●比較的低い温度（40℃～60℃）でも長時間皮ふの同じ所が熱せられると、熱い、痛いなどの自覚症状がなくても低温やけどのおそれがあります。

●次のような方は特にご注意を！
乳幼児、お年寄り、皮ふの弱い方
眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方
深酒・疲労の激しい方

特にお子さまやお年寄りなどのご自分で操作できない方が使用するときは、周囲の人が十分注意してください。

●温風を直接吸い込まないでください。気分が悪くなる原因になることがあります。

■ 電源プラグを抜いて消火しない

● 消火後、送風が止まるまで電源プラグを抜かないでください。温風空気取入口や天板が高温になり、やけどや故障の原因となります。また強いにおいがでる原因になります。

■ 熱に弱い床面にはマットなどを敷く

●熱に弱い材質の床面は変色、ヒビ割れ、そり返りなどが発生することがあります。また、ほこりやたばこの煙などで変色することもあります。保護のため熱に強いマットなどを敷いてください。

■ 持ち運ぶときは火を消して給油タンクを抜く

●傾けないように静かに運んでください。特に階段などでは油漏れのおそれがあります。

●引っ越し等の運搬時は必ず灯油を抜き、傾けたり、横倒しの状態で運搬しないでください。

■ 電源コード・電源プラグを傷めない

●傷んだまま使用すると、感電、ショート、火災の原因になります。

●電源コードや電源プラグの修理は、販売店にご相談ください。

（傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたり、挟み込まないでください。また電源プラグを抜くときはコードを持って引き抜かないでください。）

■ 温風吹出口に異物を入れたり、放置したりしない

●温風吹出口や吹出口内部に紙、布、プラスチックや、マッチ、ガスライターなどを入れたり、放置したりしないでください。発火や破裂の原因になります。

■ 高温部接触禁止

●燃焼中や消火直後は、温風吹出口に手などふれたり、内部に手を入れたりしないでください。やけどのおそれがあります。

接触禁止

■可燃物から離す

● ふすまや障子などの可燃物から右記の距離をとらないと火災のおそれがあります。

■ 電源プラグのお手入れをする

●ときどき、電源プラグを抜きほこり等を乾いた布でふきとってください。

●電源プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

■ ほこりの除去

●燃焼・温風空気取入口フィルターは、週1回以上必ず掃除してください。ごみ、ほこりなどでフィルターがつまると、異常燃焼のおそれがあります。

⚠注意（CAUTION）

■水をかけたり重いものを乗せない
●水の入った容器や物を上に乗せないでください。水が内部に入ると感電や故障の原因になることがあります。
●本体の上に乗らないでください。天板がへこんだり、やけどのおそれがあります。

■ 分解修理・改造の禁止
●改造して使用しないでください。
●修理技術者以外の人は絶対に分解、修理は行わないでください。
●故障、破損したら、使用しないでください。異常燃焼や火災の原因になることがあります。
●不完全な修理や改造は危険です。

分解禁止

■ 長期間使用しないときは電源プラグを抜く
●長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
●火災や予想しない事故のおそれがあります。

電源プラグを抜く

■ 不良灯油使用禁止
●変質灯油(持ち越した灯油など)不純灯油(灯油以外の油、水、ゴミが混入した灯油など)の不良灯油を使用しないでください。
●異常燃焼や故障の原因になるおそれがあります。

■ お手入れするときは本体が冷えた後、電源プラグを抜いてから行う
● 感電・やけどの原因になることがあります。

電源プラグを抜く

■ 廃棄するときは灯油を抜く
●本体を廃棄処分するときは、必ず給油タンク、油受皿内の灯油を市販の給油ポンプ等で抜き取ってください。灯油が入ったまま廃棄すると,リサイクルの際思わぬ事故になるおそれがあります。

■ 保管時にしていただくこと
● 保管するときや長時間使用しないときは、必ず灯油を抜いてください。傾けたり、横倒しの状態では保管しないでください。油漏れや火災のおそれがあります。

各部のなまえ

お願い(NOTICE)
本体をひきずらないでください。床面、畳、じゅうたんなどを傷つけたり、本体底面の塗装がはがれて、さびの原因になることがあります。

本体

AKF-P327N

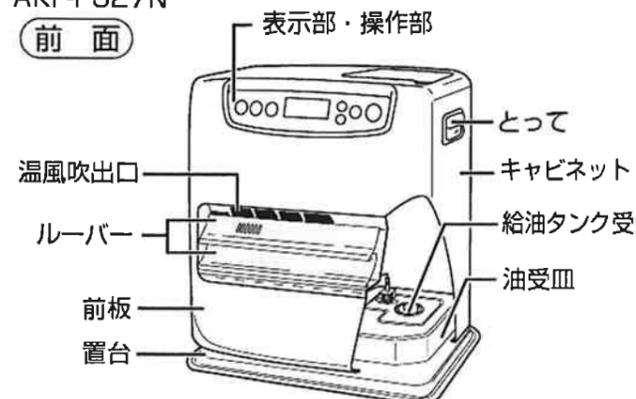
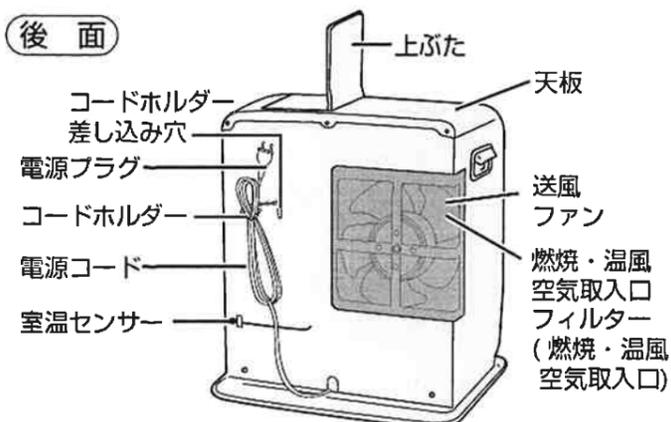
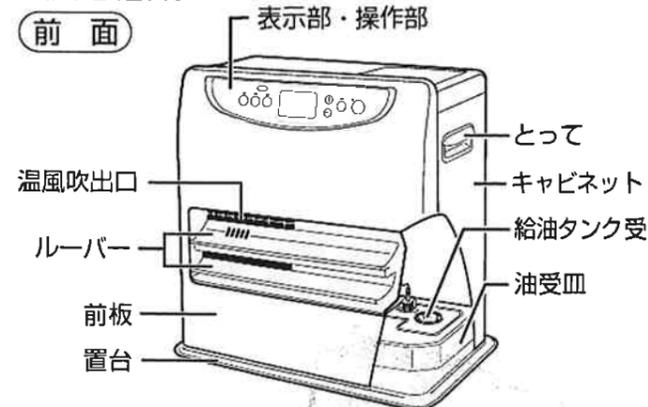
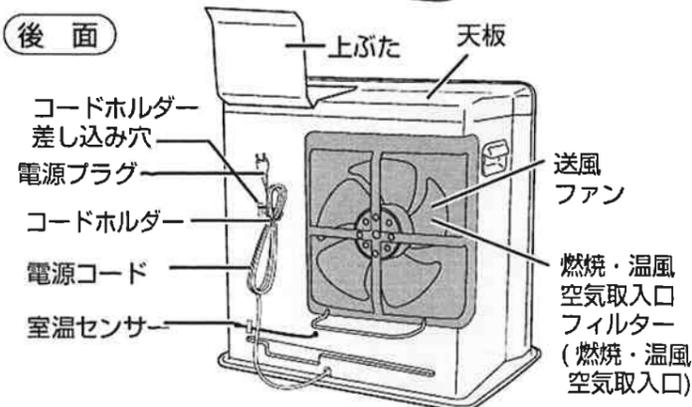
前面

後面

AKF-PL427N

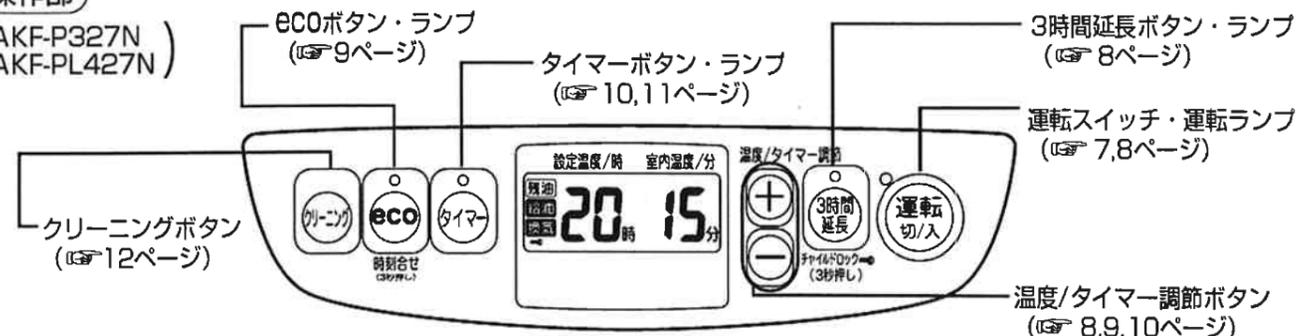
前面

後面

付属品

※お手入れのときに必要ですので、なくさないよう保管してください。
※使用しないときは、コードホルダー差し込み穴に引っかけておいてください。

表示部・操作部

表示部は説明のため、全部表示したものです。実際の運転のときは該当部分が表示されます。

操作部（AKF-P327N AKF-PL427N）

デジタル表示部（AKF-P327N AKF-PL427N）

設定温度/時　室内温度/分

- 残油表示 (☞7ページ)
- 給油表示 (☞7ページ)
- 換気表示 (☞14ページ)
- デジタル表示
- チャイルドロック表示 (☞8ページ)

※バックライトは付いていません（表示部が明るくならないタイプです）。

ご使用前の準備
使用する前の準備と確認

1 ファンヒーターを取り出す
● 各部の包装部材を全て取り除きます。詳しくは、箱上面の「開こんのしかた」をお読みください。

次のことは、工場での燃焼テストによるもので、異常ではありません。
● 油受皿に少量の灯油が残っている。● 給油フィルターがぬれている。
● 温風吹出口より見える燃焼筒(炎をかこんでいる筒)が変色している。

交流100V

2 水平を確認する
● 水平で丈夫な床面に設置してください。
● 水平でないときは、水平な場所に移動してください。

3 電源プラグをコンセントに差し込む
● コードホルダーを開き、電源コードをのばして差し込む。電源コードを束ねたままにしないでください。
● 給油タンクは本体に取付けてください。給油タンクが本体に取付けられていないと、「U12」と表示し、運転ランプが点滅します。
● 運転スイッチを「切」にした状態でも約1W消費しています。

お知らせ
● 電源プラグをコンセントに差し込むと、デジタル表示に「U 10」と表示し運転ランプが点滅することがありますが、運転スイッチが「入」になっていたためで異常ではありません。運転スイッチを押して、「切」にしてください。デジタル表示が「-- --」になり、運転ランプが消灯します。
● カーテンを二重にし、床まで伸ばすことで、お部屋の熱を逃がさず、暖かさが保てます。
● 温風の流れを妨げないでください。

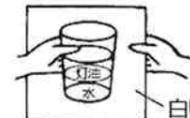
ご使用前の準備
使用燃料について

変質灯油・不純灯油は使わない
変質した持ち越し灯油、使用厳禁

燃料は必ず灯油(JIS 1号灯油)を使用してください。
ガソリン、混合油(農機具用)など揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。火災の原因になります。

灯油とガソリンの見分けかた
指先につけ息を吹きかける。
(火の気のない所で行ってください)

（区別がつきにくいときは、お買い上げの燃料店にお問い合わせください。）

変質灯油・不純灯油の見分けかた
コップに水を入れ、次に灯油を入れて背後に白い紙をあてます。
● 水と同じ無色透明なら正常。● 少しでも色がついていたら使用しない。

● 異常燃焼や故障の原因になることがあります。
● 点火しにくくなったり、白煙が出ます。
● 消火時のにおいが強くなったり、点火してもすぐ消えたり、暖まらないようになります。
● 燃焼が悪くなり、においがしたりして、安全装置が作動します。

ご使用前の準備

使用燃料について

変質灯油	不純灯油
● 古い灯油(昨シーズンより持ち越した灯油) ● 日光の当たる場所、高温の場所で長期間保管した灯油。(特に乳白色のポリ容器や容器のふたをあけて長期間保管したものは変質します) 極度に変質したものは黄色味がかったり、酸っぱい臭いがします。	● 灯油以外の油(てんぷら油や機械油、重油、ガソリンシンナー)などがほんのわずかでも混入した灯油。 ● 水やごみ、ドラム缶のさびなどが、混入した灯油。 ● 灯油水抜剤を添加した灯油。

万一変質灯油や不純灯油を使用したときの処置

不良灯油を除き、給油タンク、油受皿の内部をきれいな灯油で洗い、クリーニング（から焼き）をしてからご使用ください。(12ページ「クリーニング(から焼き)」)それでも効果のないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。(分解・点検が必要です)灯油の廃棄処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。

変質灯油、不純灯油が原因でサービスを依頼されたときは、保証期間中でも保証の対象外となります。

灯油の保管のしかた

燃料は必ず灯油(JIS 1号灯油)を使用してください。

火気、雨水、ごみ、高温及び直射日光を避けた場所に必ず保管する

- 灯油は翌シーズンに持ち越さない。シーズン終了前に使いきってください。
- 灯油は直射日光を避け、青や赤などの着色されたポリ容器（灯油用）で保管してください。ポリ容器のふたは確実にしめてください。
- ポリ容器に雨水がかからないように、ポリ容器の灯油に水が混入し、燃焼不良の原因になります。

ご使用前の準備

給油のしかた

必ず消火してから行ってください。

1 給油タンクを取り出し、逆さにし、口金をはずす

口金のはずしかた

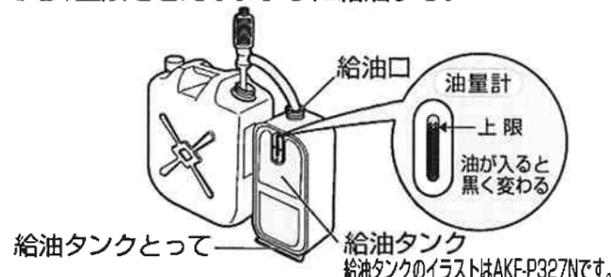
- 口金を左にまわす。
- 給油タンクを取り出すとき、こぼれた油はふき取る。
- 口金に砂やごみがついたり、入ったりしないように注意する。(回転が重くなります)
- 給油口・口金のさび、変形、回転不良および破損がないか確認する。(☞11ページ「給油タンクの点検」)

開く

2 給油する

- 給油タンクを下図のようにして、油量計を見ながら、上限をこえないように給油する。

給油口　油量計　上限　油が入ると黒く変わる　給油タンクとって　給油タンク

給油タンクのイラストはAKF-P327Nです。

3 「カチッカチッ」と音がするまで口金をしめる

口金のしめかた

- 赤色の線が見えなくなるまで口金を右に回し、「カチッ・カチッ」と音がするまで確実にしめてください。
- 必ず火の気のないところで口金を下にして、油漏れがないか確かめる。

赤色の線　閉める

4 給油タンクを本体に静かにもどす

- 給油タンクを本体にセットする。
- 灯油が油受皿に入るまで約1分待って点火する。

燃焼中に給油タンクを取り出すと、給油時消火装置が作動し「U12」を表示し消火します。

お知らせ

- 給油口周辺が多少黄色くなることがありますが、異常ではありません。
- 口金が確実に締っていないと、口金から灯油が漏れて火災のおそれがあります。

お願い(NOTICE)

- 給油口が変型しますと油漏れの原因となりますので、ぶつけたりしないでください。
- 給油タンクを落とすと、油が漏れたり、ケガをすることがありますのでご注意ください。

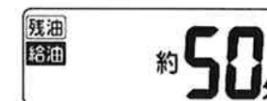
ご使用前の準備

給油のしかた

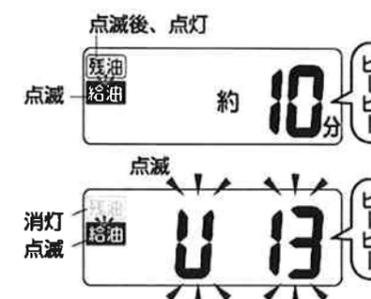
必ず消火してから行ってください。

残り燃焼時間表示について 給油タンクの油が少なくなると

1 給油 と 残油 表示が点灯。ブザーが5秒間鳴り、デジタル表示部に油切れ消火までの運転時間のめやすを表示します。

- 50と表示。残り燃焼時間は約50分の意味です。
- 燃焼は中～弱で燃焼します。運転時間のめやすは中で燃焼が続いた場合を表示し、表示時間以上の運転が可能です。（お部屋が暖まっている場合など使用環境によっては、表示時間より大幅に燃焼時間が長くなります）

2 表示は 約40分 、約30分 のように10分きざみで切り替わっていきます。約10分 のときはブザーが5秒間なります。

3 約10分 に変わってから油切れ消火までは 約10分 の表示を続けます。その後ブザーが5秒間鳴り、給油 表示が点滅し、油切れ消火が近いことをお知らせします。ブザーが5秒間なっている間は 残油 表示は点滅、それ以外は点灯します。

4 灯油がなくなると自動消火します。ブザーが10秒間なり、残油 表示が消灯します。給油 表示が点滅します。「U13」を表示し点滅します。

使いかた

点火のしかた

安全のため運転開始後3時間で自動消火します。

点火する

を押して運転ランプを点灯させる

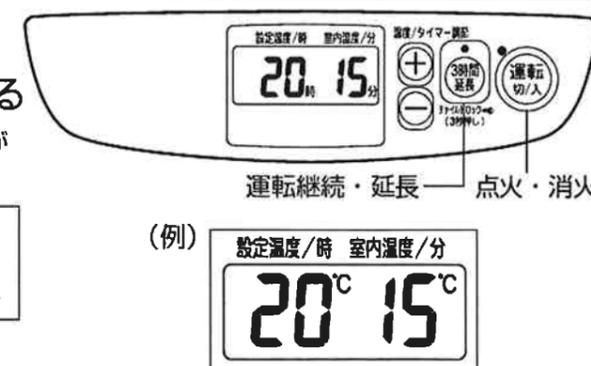
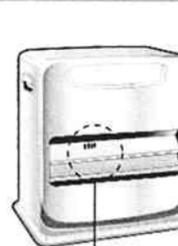
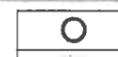
- 運転ボタンを強く押し込み、運転ランプが点灯したことを確認してください。

注意 運転スイッチは、安全のために他のスイッチと違ったものを使用していますので、少し強めに押してください。

約2分後、自動点火し、送風が始まります。

（例）

設定温度/時　室内温度/分

20℃ 15℃

燃焼確認窓から炎の状態を確認する

正常燃焼（青色の炎）

- 次のような場合は異常ではありません。

⇒黄色の炎が時々まじる。
⇒弱燃焼時に網の部分が赤く見える。

異常燃焼（黄火燃焼）

- 次のような場合は異常です。

⇒大きな黄火が出る（すす発生の原因になります）
⇒音やにおいがする。

- 運転を止めて、お買い上げの販売店へ連絡してください。

お知らせ

- 点火時、「パチパチ」と音がしたり、数回「カチッ」と音がして、お部屋の照明が一瞬変化することがありますが、異常ではありません。
- 運転スイッチを「切」にした状態でも、約1Wの電力を消費しています。

お願い(NOTICE)

- 超音波加湿器を使用している部屋ではファンヒーターを使わないでください。赤褐色の炎になったり、水質によってはファンヒーターが故障する原因になります。

使いかた
室温調節のしかた

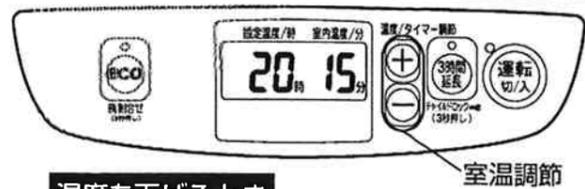
12℃から30℃の範囲で室温調節できます。

1 運転 切/入 **を押す**（運転中は押さなくてよい）

● 運転ランプが点灯したことを確認してください。

2 ⊖または⊕ **を押す**

● 12℃未満、30℃を超えては設定できません。（ブザーでお知らせします）

● 押し続けると連続して温度が変わります。一度セットすれば記憶されます。

温度を下げるとき

⊖を押すごとに1℃ずつ下がります。

（例）20℃▸19℃▸18℃▸…▸12℃

温度を上げるとき

⊕を押すごとに1℃ずつ上がります。

（例）20℃▸21℃▸22℃▸…▸30℃

お知らせ

● 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときでも設定温度は記憶されています。再度セットする必要はありません。
● 室温の表示は、室内平均温度のめやすです。設置条件等により必ずしも寒暖計の温度とは一致しません。
● 室温が0℃以下でも「0℃」が表示されます。
● 給油 表示が点灯しているとき、燃焼は「中」以下になります。
● 暖かい日、室温が設定温度より上昇することがあります。暖房負荷が小さいために、弱燃焼でも暖めすぎになります。このようなときはecoボタンを押してください。

使いかた
消火のしかた

消火する　運転 切/入 **を押す** ➡ 消火

注意 消火直後に電源プラグをコンセントから抜かないでください。においが出ます。
消火直後に電源プラグをコンセントから抜くと送風ファンが回らず、本体上部や温風空気取入口が熱くなり、やけどのおそれがあります。

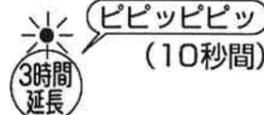
● 運転ボタンを強く押し込み、運転ランプが消灯したことを確認してください。
● 燃焼が停止し、一旦送風が止まり、再度送風して約3.5分後運転が停止します。

継続・延長する

安全のため運転開始後3時間で自動消火します。（消し忘れ消火装置により、万一の事故を防ぐため）
● 運転ランプが消灯します。
● 3時間延長ランプが点灯します。

部屋の換気をしてから

3時間延長 **を押す**

● 運転中はいつでも押したときから3時間運転を継続できます。
● 2時間45分経過したとき3時間延長ランプが点滅し「ピピッピピッ」と音が10秒間なります。
この時に 3時間延長 を押すと、消火せずに運転を継続できます。

● 運転ランプが消灯し、3時間延長ランプが点灯します。

● 自動消火したとき 3時間延長 を押します。
3時間延長ランプが消灯。運転ランプが点灯し、押したときから3時間運転します。

チャイルドロックのしかた

お子さまのいたずら操作を防ぐことができます。
運転中でも運転していないときでも、チャイルドロックできます。

3時間延長（チャイルドロック（3秒押し））をピッという音が鳴るまで約3秒間押す
● デジタル表示部に 🔑 と表示します。

取り消すときは再度 3時間延長 をピーという音が鳴るまで約3秒間押す
● デジタル表示部の 🔑 という表示が消えます。

お知らせ デジタル表示部に 🔑 を表示しているときはすべての操作ができません。
● ただし、運転中は運転スイッチを「切」にできます。
● チャイルドロックを取り消さないと、運転スイッチは入りません。

使いかた
eco運転のしかた

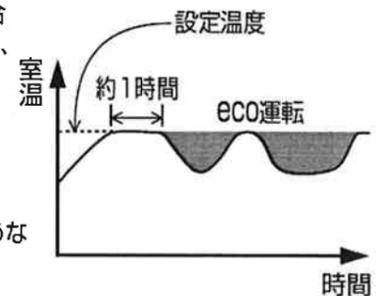
暖めすぎを防止して、節約暖房したいときにご使用ください。
（設定温度より室温が3℃上がると消火し、設定温度より1℃下がると点火します。）

1 運転 切/入 **を押す**（運転中は押さなくてよい）
● 運転ランプが点灯したことを確認してください。

2 eco **を押す**
● ecoランプが点灯し、eco運転を開始します。
● 運転スイッチを「切」にしても、一度セットすれば記憶されます。
● 取り消す時は再度ボタンを押してください。

お知らせ
● eco運転中は室温が設定温度より低めに（最大2℃）表示することがあります。
● タイマー予約にするとecoランプは消灯しますが、eco運転は取り消されません。
● 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときはeco運転の設定は取り消されます。

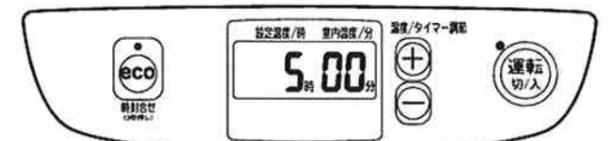
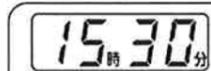
eco運転とは

①室温を低めに変化させると、皮膚の温度が固有のリズムで変化します。そのリズムに合わせて室温をゆらがせること(生体適応リズム)で、身体に感じる温度を変えることなく、燃焼量と風量を自動的に下げ、節約暖房を実現した機能です。
長時間(3時間以上)暖房される場合に効果があります。
●使用条件によって、効果は変わります。
●お部屋の温度が設定温度になって約1時間後からeco運転を開始します。eco運転をセットして、ecoランプが点灯してもすぐにはeco運転にならないことがあります。
②秋口や春先、断熱性の高いお部屋でお使いになるときなど、室温がすぐに高くなるような条件では、設定温度より3℃上がると消火し、設定温度より1℃下がると点火します。
ecoボタンを押すと、時間に関係なく上記条件になるとeco運転になります。

使いかた
時計の合わせかた

運転中でも運転していないときでも時刻設定できます。

1 eco（時刻合せ（3秒押し））**を3秒間押す**
● デジタル表示の設定時刻が点滅します。
● 運転スイッチが「入」のときは「ピッ」と音が鳴りますが、3秒間押し続けると、時刻合わせできます。

2 ⊖または⊕ **を押し、時刻を合わせる**
● 時刻を進めるときは⊕を押し、もどすときは⊖を押します。
● 1回押すごとに1分単位で変わります。
● 押し続けると、10分単位で変わります。

3 eco **を押す**
● eco を押して時刻を確定します。

デジタル表示部	
点滅	初めて使用するときや、電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んだとき点滅します。
5時00分	最初午前5時00分になり、「時」「分」が点滅します。
15時30分	〈現在の時刻が午後3時30分の場合〉
15時30分	デジタル表示の「時」「分」が点灯に変わり、時計が動きます。

お知らせ
● 電源プラグを抜くと、再度時計の時刻合わせをやりなおす必要があります。
● 夜中の12時の場合、表示は 0時00分 です。

使いかた
タイマー運転のしかた
あらかじめお部屋を暖めておきたいときにご使用ください。

タイマー予約時刻の合わせかた

1 現在の時刻を確認する（☞ 9ページ）
- 現在の時刻を合わせていないときはタイマー予約できません。

2 運転 切/入 を押す（運転中は押さなくてよい）
- 運転ランプが点灯します。
- 運転スイッチが「入」になっていないとタイマー予約できません。

3 タイマー を押す
- タイマーランプが点灯します。
- デジタル表示の「時」「分」が点滅します。
- タイマー表示が点滅します。

5時00分

4 − または ＋ を押し、時間を設定する
- ＋を押すごとに進み、−を押すともどります。
- 1回押すごとに10分ずつ変わります。
- 押し続けると表示が連続して変わります。
- 約5秒後運転ランプが消灯し、燃焼中の場合は自動消火します。
- 「時」「分」が点滅している間に合わせてください。
  （例）午前6時30分に予約したいときデジタル表示の表示を

6時30分 に合わせる　「ピピッ」と音がなり、約5秒後自動的にタイマー予約になり消火します。

タイマー予約時刻のみ設定したい場合は、再度 タイマー を押すことで通常運転に戻ります。

あったかタイマー機能
お目覚めの時には暖かくなるように、予約した時刻より早く(5～15分前) 運転を開始します。室温が 16℃未満のときはその日のお部屋の温度によって点火する時刻が変わります。室温が 16℃以上のときは設定した時刻に運転を開始します。

お願い(NOTICE)
- 運転中に停電したときや電源プラグを抜いたときは（再通電後運転ランプ点滅）デジタル表示に「U 10」が表示されます。運転スイッチを「切」にし、手順「1」からやりなおしてください。
- 地震や強い衝撃があったとき、給油タンクを抜いたとき（運転ランプ点滅）デジタル表示に「U 12」が表示されます。運転スイッチを入れなおし、タイマーボタンを押してください。

タイマー予約のしかた
安全のため約1時間で自動消火します。

1 運転 切/入 を押す
（運転中は押さなくてよい）

2 タイマー を押す

約5秒後「ピピッ」と音が鳴り、

運転ランプが消灯します。
燃焼中の場合は、自動消火します。
- タイマーランプが点灯します。
- タイマー予約時刻を表示します。（10秒間）
- 約10秒後に時計表示になります。

タイマー運転中は予約時刻になると自動的に点火
- 室温が低いほどあったかタイマー機能によって、予約時刻よりも早く運転を開始します。

↓

消火する10分前
- ピーピーと10秒間鳴り、タイマーランプが点滅します。

↓

約1時間燃焼し、自動消火
- 運転ランプが消灯したことを確認してください。
- タイマーランプは点滅のままです。

自動消火させずに続けて暖房したいときは
燃焼中に タイマー を押す
- タイマーボタンを押して、タイマー運転を取り消してください。
- タイマーランプが消灯します。

タイマー予約の取り消しかた

を再度押す
- 「ピー」と音がなり、タイマーランプが消灯し運転ランプが点灯します。約2分後自動点火します。

お知らせ
- 毎日同じ時刻にお部屋を暖めておきたいとき運転スイッチを「入」にし、タイマーボタンを押すだけで予約できます。
- タイマー予約後にタイマー予約時刻を変更したいときは運転スイッチを入れなおし、10ページの手順「2」からやりなおしてください。
- タイマー予約時刻について
  電源プラグを抜いたり、停電した場合は現在の時刻を設定しなおしてください。
  タイマー予約時刻は一度セットすれば記憶されますので、予約しなおす必要はありません。

日常の点検とお手入れのしかた
点検・お手入れするときは、必ず運転を停止させ、本体が冷えてから電源プラグを抜き、点検・お手入れを行ってください。

お使いのたびに点検を

周囲の可燃物の確認
- 本体の周囲に燃えやすいものがないか、常に確認してください。

油漏れ・油のかたまり・油のにじみ
- 油漏れのある場合は、電源プラグをコンセントから抜き、給油タンクを取り出してから、お買い上げの販売店にご相談ください。

給油タンクの点検
- 給油口・口金にさび、変形、回転不良および破損があるときは、新しい給油タンク・口金と取り替える。お買い上げの販売店にご相談ください。

週1回以上

燃焼・温風空気取入口フィルターの掃除
- ほこりは掃除機で吸い取る。
- 取れにくいほこりは歯ブラシなどで落としながら、掃除機で吸い取る。

お願い(NOTICE)
- 灯油や灯油でぬれたほこりは、絶対に掃除機で吸わせないでください。室温センサーを曲げないように注意してください。
- 運転中は掃除機で燃焼・温風空気取入口フィルターの掃除をしないでください。異常燃焼を起こします。

1ヶ月に1回以上

本体・温風吹出口の掃除
- ほこりは掃除機で吸い取る。
- 油や汚れは、家庭用台所洗剤（中性）を薄めたものを付けた布でふき、かわいたやわらかい布でふき取る。
- 温風吹出口は、ほこりや白い粉がつき変色することがあるので、家庭用台所洗剤(中性)を薄めたものを付けた布でふきかわいたやわらかい布でふき取る。

お願い(NOTICE)
- 本体をベンジン・シンナーなどでふかないでください。

1シーズンに2～3回

給油タンク受の掃除
- 灯油に水やごみが混入することがありますので、右記に従って掃除をしてください。

対震自動消火装置の点検
- 燃焼中、本体を水平にゆすって確実に消火するか確かめてください。

1 給油タンク受を取り出す

2 給油タンク受のごみや水を取る
- 給油タンク受を逆さにし、新聞紙などの上に置いて取る。

3 給油タンク受をもとどおりにセットする

汚れたり、灯油が通りにくくなったとき
- 給油タンク受のフィルターは、灯油は通しますが水は通しにくいフィルターでできています。
  給油タンク受のフィルターに水やごみがたまると、給油タンクに灯油があるのに、U13表示(灯油切れエラー)が点滅することがあります。
- 給油タンクを取り出してから、給油タンク受を傾けないように取り出し、たまった水やごみを取り除いてください。

お願い(NOTICE)
- 給油タンク受は水で洗わないでください。
  必ずきれいな灯油で洗ってください。
  水で洗うと灯油が通過しにくくなります。
  ごみが取れにくい場合は、歯ブラシなどを使うと便利です。
  給油タンク受は必ず取り付けてください。
  取り付けないで使用すると器具の故障の原因になります。

ゴム手袋
給油タンク受
きれいな灯油

クリーニング（から焼き）のしかた

1シーズンに1回以上

灯油を気化させる部品にたまったタールを、から焼きすることにより取り除きます。
次のようなときはクリーニングをしてください。（クリーニングは約2時間かかります）

- デジタル表示に「U17」を表示したとき
- 点火しない、炎が小さい、黄火燃焼になる、においが強い
- シーズンの終わりでおしまいになるとき（またはシーズンの始め）

準備の①～④が終わったら、手順へ進んでください。

準備 油受皿の灯油を完全に抜き取らないと空焼きにならずクリーニングできません。

①ファンヒーターを室外に出す
- クリーニング中はにおいや煙が出ます。

②給油タンクと給油タンク受を取り出す

③油受皿及び給油タンクの灯油を給油ポンプで抜き、抜ききれないときは、灯油を付属のスポイトで抜く
- 油受皿の灯油を抜かないとクリーニングが受けつけできません。

④給油タンク受、給油タンクを元通りにセットする
- 上ぶたを閉める。

手順

①電源プラグをコンセントに差し込む

②運転スイッチが「切」になっているか確認する
- デジタル表示に「U10」表示しているときは、運転スイッチを「切」にしてください。
- 運転スイッチが「切」でないと、次の操作ができません。

③クリーニングボタンを約3秒間ピッと音がするまで押しつづける
- デジタル表示に C- が表示されます。

④運転スイッチを「入」にする
- 運転ランプが点灯して、デジタル表示の表示が C8 になり、クリーニングを開始します。

⑤C0表示が点滅するまで放置する（約2時間かかります）
- デジタル表示が C8→C7→C6…と変わり、C0 表示が点滅すると、クリーニングは終了です。

⑥運転スイッチを「切」にする

クリーニングが終わったら

引き続き使用されるとき（シーズン中）

①給油タンクに新しい灯油を給油して本体にセットし、約1分後に運転スイッチを「入」にする。

おしまいになるとき（シーズン終わり）

①電源プラグをコンセントから抜く。
②以後は、「保管のしかた」にしたがって保管する。
（☞13ページ手順「5」以降）

お願い(NOTICE)
- 誤って不良灯油を使用したために、クリーニングするとき1回で完全に回復しない場合は、2～3回行ってください。
- クリーニングを途中で止めると効果がありません。C0 表示になるまで行ってください。

お知らせ
- クリーニング中に移動したりすると表示が点滅状態になり、運転を停止します。
  運転スイッチを「切」にし、再度手順 ③ からやり直してください。
- クリーニング中は電磁ポンプの空打ち音（ポコポコ）がし、送風になりますが、異常ではありません。
- クリーニング中「カチッ」「カチッ」と音がして、照明が一瞬変化することがありますが、異常ではありません。

部品交換について

故障したものは絶対に使用しないでください。

お買い上げの販売店へご依頼下さい

交換部品は石油ファンヒーターをお買い上げの販売店でお求めください。必ず、純正部品をお使いください。不完全な修理は危険です。お買い上げの販売店または財団法人日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)などのいる販売店などで修理をお受けください。

消耗・劣化しやすい商品
- 使用期間により交換が必要な部品
  電極ユニット、ホエンバンU、燃焼筒、給油タンク受、アースリング
- 変質灯油、不純灯油の使用により劣化しやすい部品
  給油タンク受(フィルター部)、電磁ポンプ、気化器、温風吹出口、ソレノイド

別売品	給油タンク受 口金 給油タンク（口金付）

保管のしかた

- 灯油の廃棄　灯油の廃棄処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。
- 本体の廃棄　本体の廃棄処分は、給油タンク、油受皿の灯油を抜いてください。

長期間使わないとき

1. 給油タンクを取り出し、灯油を抜き取る
   - 水、ごみを残さない。（さび、穴あきの原因に）
2. 給油タンク受の掃除をする
   - 11ページの手順「1」と「2」を行う。
3. 消火するまで燃やしきり、油受皿内の灯油を付属のスポイトで抜き取る。
   - 水、ごみを残さない。（さび、穴あきの原因に）
   - 急ぐ場合は市販の給油ポンプで油を抜く。
4. クリーニング（から焼き）する（☞12ページ）
   - バーナーの寿命を延ばし、長くご使用いただくためです。
5. 本体、燃焼・温風空気取入口フィルター、温風吹出口を掃除する。（☞11ページ）
6. 電源コードを束ね、付属のスポイトとともにコードホルダー差し込み穴に差し込む（☞4ページ）
7. 乾燥した場所に保管する
   - 傾けたり、横倒しにしない。

故障かな？

修理・サービスを依頼されるまえに次の表に従ってもう一度お確かめください。

現　象	原　因（安全装置）	処置方法
	点火や消火のとき	
● 運転ランプが点灯しない。 ● 点火しない	● 3時間延長ランプが点灯していませんか？（消し忘れ消火装置が作動）	運転スイッチを入れなおす。 または3時間延長ボタンを押す。
	● 電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグをコンセントに差し込む。
	● 給油タンクが入っていない	給油タンクを本体に入れる。
	● チャイルドロックしていませんか？	チャイルドロックを取り消す。
● においがする。	● 油がこぼれたままになっていませんか？	乾いた布で完全にふき取る。
	● 変質灯油や不純灯油を使用していませんか？	新しい灯油と入れかえる。
	● 給油タンク受、油受皿に水がたまっていませんか？	給油タンク受、油受皿の水を抜く。（☞ 11ページ）
	● 運転中や消火直後に電源プラグをコンセントから抜きませんでしたか？	運転中に電源プラグをコンセントから抜かない。
● 初めて使用するときや、シーズンはじめに使用するとき煙やにおいが出る。	● 耐熱塗料やほこりが焼けるためです。	異常ではありません。
● 点火時、消火時に「カチャ」と音がする。	● ノズルを開閉する弁の音です。	
● 「パチパチ」、「ボッ」音がする。	● 点火放電や点火時の着火の音です。	
● 「ピチピチ」音がする。	● 点火時、消火時に金属が伸び縮みする音です。	
● タンクから「ボコン」と音がする。	● タンクの膨張による音です。	
	燃焼しているとき	
● 消火する。 ● ランプが正しく働かない。	● 電源に異常な雑音が入った。	電源プラグをコンセントから抜き再度入れる。
● 点火しても燃焼が弱く部屋が暖まらない。 ● 炎の状態が悪く、黄火燃焼やにおいが出る。	● タールが付着しています。	クリーニングする(☞ 12ページ)
	● 燃焼・温風空気入口フィルターがほこりでつまっている。	燃焼・温風空気取入口フィルターを掃除する。
	● 換気不足のためです。	換気する。
● 燃焼部の一部が赤くなる。	● 炎に熱せられるためです。	異常ではありません。
● 「コトコト」音がする。	● 電磁ポンプが動いている音です。	
● 「ボコボコ」音がする。	● 燃焼中や消火後に油受皿に灯油が流れる音です。	
● 「ピチピチ」音がする。	● 燃焼量が変化した時に金属が伸び縮みする音です。	
● 「シュー」音がする。	● 気化した灯油が吹き出す音です。	
● 室内温度表示が異常である。	● 油切れになっていませんか？	給油する。(☞6ページ)
	● 室温センサーが直射日光にあたっていませんか？	直射日光のあたらない場所に移動する。
	● 本体に逆風があたっていませんか？	本体に逆風があたらないようにする。
	タイマー予約しているとき	
● タイマー予約したのに運転しない。	● タイマー予約中に停電や地震・強い衝撃がありませんでしたか？	運転スイッチを入れなおす。

- 以上の項目にしたがって、処置しても異常がなおらない場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

お手入れ・保管・その他

定期点検について

定期点検のおすすめ (2シーズンに1回)

長期間ご使用になりますと機器の点検が必要になります。
2シーズンに1回程度、シーズン終了後などに、お買い上げの販売店または修理資格者【財団法人日本石油燃焼機器保守協会（TEL 03-3499-2928）で行う技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など】のいる販売店などにご相談され、点検依頼されることをおすすめします。

異常のお知らせと処置のしかた

デジタル表示に自己診断表示が出たら…
安全装置が作動すると、運転ランプが点滅し、自動消火します。
また、デジタル表示に故障・異常の原因(自己診断表示記号)がアルファベットと数字で点滅表示します。

デジタル表示(自己診断表示)	原因（安全装置）	処置方法
U 04	● 燃焼・温風空気取入口フィルターがつまっていませんか？（過熱防止装置が作動）	燃焼・温風空気取入口フィルターを掃除する。（☞11ページ）
	● 温風吹出口がふさがっていませんか?（過熱防止装置が作動）	障害物を取りのぞく。
U 10	● 停電があった。（停電安全装置が作動） ● 電源プラグをコンセントに差し込むとき、運転スイッチが「入」になっていませんでしたか？	運転スイッチを入れなおす。
U 12	● 強い地震｛震度5(強)以上｝・衝撃を受けていませんか？（対震自動消火装置が作動）	地震によって作動した場合は、周囲の可燃物、機器の損傷、油のあふれなど異常がないか確認し、運転スイッチを入れなおす。
	● 給油タンクを本体から取り外している。	給油タンクを本体に取りつける。
U 13 ● 給油 表示点滅	● 灯油がなくなっていませんか？	給油する。（☞6ページ）
	● 給油タンク受に水やごみがたまっていませんか？	給油タンク受のお手入れをする。（☞11ページ）
U 17	● 変質灯油や不純灯油を使用していませんか？	クリーニングする。（☞12ページ） 新しい灯油と入れかえる。（☞5,6 ページ）
	● タールが付着しています。	クリーニングする。（☞12ページ）
U 18 ● 20秒間音でお知らせします。 換気 ランプ点滅	● 室内の換気が不足していませんか？(不完全燃焼防止装置が作動)	必ず1時間に1～2回は換気する。
	● 燃焼部にシリコーン酸化物やタールが付着しています。	本体内部の点検が必要です。お買い上げの販売店へご連絡ください。
H 31 ～ H 33	● 油受皿に水がたまっていませんか？	油受皿の水を抜き取る。
	● 点火ミスまたは、燃焼に異常が発生していませんでしたか？(点火安全装置が作動)	本体内部の点検が必要です。お買い上げの販売店へご連絡ください。
H 36	● 燃焼・温風空気取入口フィルターがつまっていませんか？(不完全燃焼防止装置が作動)	燃焼・温風空気取入口フィルターを掃除する（☞11ページ）
	● 燃焼部にシリコーン酸化物が付着しています。揮発性シリコーン配合の枝毛用コート液・化粧品・つや出し剤などを使用していませんか？ ● 電磁ポンプにごみがつまっている。	本体内部の点検が必要です。お買い上げの販売店へご連絡ください。
H 83	● 燃焼部にタールが付着しています。	本体内部の点検が必要です。お買い上げの販売店へご連絡ください。
その他、上記以外の表示又は全く表示しない場合	● 電源プラグを抜いて、再び差し込み、運転スイッチを入れなおす。	
HHH点滅	● 不完全燃焼防止装置が連続して4～6回作動した	運転スイッチを入れなおす。
HHH点灯	● 不完全燃焼防止装置が連続して7回作動した。	本体内部の点検が必要です。お買い上げの販売店へご連絡ください。

上記の処置をしても、繰り返し表示するときや運転しないときは、表示内容を確認して運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証とアフターサービス

保証書について

裏表紙の保証書は販売店でお渡ししますから、所定事項の記入および記載内容をご確認のうえ保管してください。

保証期間はお買い上げの日より1年間です。

- 保証書の記載内容によりお買い上げの販売店が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎてからの修理については お買い上げの販売店、または当社にご相談ください。
  お客さまの希望により有料修理いたします

この取扱説明書と本体に表示されている禁止事項・注意事項および通常使用に反して使用された場合の故障・事故は補償いたしません。

補修部品の保有期間について

石油ファンヒーターの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後、6年です。

- 性能部品とは 製品の機能を維持するために必要な部品です。

転居される場合

- 転居のときなど車で運搬する場合は、給油タンクを抜き、油受皿の灯油を抜き、横倒しや斜めにしないで運搬してください。振動や傾いたときに灯油がもれます。また故障の原因にもなります。

愛情点検

長年ご使用の石油ファンヒーターの点検を！

- 石油ファンヒーターの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後、6年です。

このような症状はありませんか

- 油もれがする
- 白煙が出たり、強いにおいがする
- 運転中、異常な音がする
- 何度も同じエラー表示が出る
- その他の異常や故障がある

ご使用中止　故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて販売店に点検・修理をご相談ください。

※2シーズンに1回程度の定期点検をおすすめします。

仕様

※騒音の数値はJIS測定法（S3031）に基づく測定値です。

型式の呼び			AKF-P327N	AKF-PL427N
種類			気化式・強制通気形・強制対流形	
点火方式			高圧放電自動点火	
使用燃料			灯油（JIS K2203 1号灯油）	
暖房出力	最大		「強」 3.22kW	「強」 4.22kW
	最小		「弱」 0.81kW	「弱」 0.81kW
燃料消費量	最大		「強」 3.22kW（0.313L/h）	「強」 4.22kW（0.410L/h）
	最小		「弱」 0.81kW（0.079L/h）	「弱」 0.81kW（0.079L/h）
油タンク容量			4.0L	7.0L
燃焼継続時間	最大	強	12.8時間	17.1時間
	最小	弱	50.6時間	88.6時間
標準適室(暖房のめやす)			約15.0～20.0m²(9～12畳)	約18.0～25.0m²(11～15畳)
電源電圧及び周波数			AC100V 50/60 Hz	
定格消費電力	最大消費電力(点火時)		610W/610W	610W/610W
	燃焼時消費電力		21W/21W	22W/22W
	待機時消費電力		1.0W/1.0W	1.0W/1.0W
騒音（正面）※	最大	強	37dB	39dB
	最小	弱	24dB	23dB
安全装置			対震自動消火装置・不完全燃焼防止装置・点火安全装置 停電安全装置・過熱防止装置・消し忘れ消火装置・給油時消火装置	
外形寸法			高さ415mm×幅358mm×奥行299mm（置台を含む）	高さ425mm×幅420mm×奥行282mm（置台を含む）
質量			約8.4kg	約10.0kg
付属品			スポイト	